



TITLE:

学術情報リポジトリの苦勞と喜び(プログラム)

AUTHOR(S):

京都大学附属図書館情報管理課電子情報掛

CITATION:

京都大学附属図書館情報管理課電子情報掛. 学術情報リポジトリの苦勞と喜び. 2007

ISSUE DATE:

2007-10-24

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/48910>

RIGHT:

平成 19 年度京都大学図書館機構公開事業 開催概要

テーマ：

大学のたわわな果実がどれほど甘く熟しているかをじっくりと味わうには
—機関リポジトリによる教育研究成果の発信と効果的利用—

趣旨：

樹木が果実を育むように、大学では日々豊かな教育研究成果が生み出されています。こうした成果を収集し、社会に還元することを目的として、平成 17 年度から機関リポジトリの取り組みが全国で始まりました。当初はシステムの導入・構築を中心としていましたが、現在では大学の教育研究成果の確実な収集と効果的な利用に向けての活動に軸足を移しつつあります。京都大学の学術情報リポジトリも、その高い理想をどのような内容と表現形式により実現するか、ということが問われる段階となっています。

機関リポジトリの新しい展開に向けて、大学で育まれる豊かな果実を十分に味わう方法をコンテンツの作成者と利用者の双方の立場から話し合う場として、平成 19 年度京都大学図書館機構公開事業を開催します。

主催：京都大学図書館機構、京都大学学術情報リポジトリ検討委員会

開催日時：平成 19 年 10 月 24 日（水） 13 時 20 分～17 時 00 分

開催場所：京都大学芝蘭会館 2 階山内ホール

プログラム：

1. 開会挨拶（13:20～13:25）
西村 周三（京都大学理事・副学長）
2. 講演 1 「大学図書館と機関リポジトリ」（13:25～14:10）
膝舘 俊広（文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室情報研究推進専門官）
3. 講演 2 「機関リポジトリが大学にもたらすもの、変えるもの」（14:10～14:55）
伊藤 義人（名古屋大学附属図書館長）
4. 事例報告 1 「文系研究者にとっての情報発信とは」（14:55～15:25）
武田 時昌（京都大学漢字情報研究センター教授）

（休憩 15:25～15:40）
5. 事例報告 2 「講究録データとリポジトリに期待するもの、不満なこと」（15:40～16:00）
長谷川 真人（京都大学数理解析研究所教授）
6. 事例報告 3 「学術情報リポジトリの苦勞と喜び」（16:00～16:20）
京都大学附属図書館情報管理課電子情報掛
7. 討論会「大学の果実をどのように味わうか：これからの機関リポジトリ」
（16:20～17:00）
司 会：大西 有三（京都大学図書館機構長）
パネリスト：西村周三、膝舘俊広、伊藤義人、武田時昌、長谷川真人